

設置目的

美術に関する市民の知識及び教養の向上に寄与することを目的とする。

運営方針「美術館がめざすもの」

政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館

- 1 「あるもの（館蔵品を含む地域の多様な文化資源・自然環境）」を活かし、新たな知を掘り起す
「発見する美術館」
- 2 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が 「学べる美術館」
- 3 さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る 「生きている美術館」
- 4 市民同士、地域の文化施設相互が 「つながる美術館」
- 5 高い質を保ち、市民が誇れる 「信頼の美術館」

平成 24 年 9 月策定

新潟市新津美術館

設置目的

市民の芸術に関する市民の知識及び教養の向上並びに芸術文化の交流の推進に寄与することを目的とする。

運営方針

市民と連携しながら、愛され親しまれる美術館

1. 何かが見つかる美術館

美術館の持つ資源を活用して、市民に美術に対する新たな発見と感動の場を提供し、豊かな創造力を育みます。

2. 明日へ向かう美術館

美術資料の収集・整理・保管を充実・強化するとともに、次世代に引き継ぐための活用・普及を実践します。

3. みんなと歩む美術館

他施設との連携や来館者とのコミュニケーションを図り、市民の視点に立った取り組みを実践します。

平成 24 年 9 月策定

令和5年度 新潟市美術館 事業計画

I 展覧会事業

1. コレクション展

期 間	事 業 名	内 容
(3月25日) ～ 6月25日	コレクション展Ⅰ	展示期間に配慮しつつ館を代表する所蔵作品をバランスよく紹介しながら、企画展や季節に合わせて構成する。
6月30日 ～ 10月22日	コレクション展Ⅱ	
10月28日 ～ 1月28日	コレクション展Ⅲ	

2. 企画展

期 間	事 業 名	主 催	内 容
4月8日～ 5月28日 (45日)	美術館に行こう！ ディック・ブルーナに学ぶ モダン・アートの楽しみ方	新 潟 市 (実行委員会を組織)	広く親しまれているミッフィー(うさこちゃん)の絵本『うさこちゃん、びじゅつかんへいく』(1997)をガイドに、当館所蔵品を紹介し、子どもから大人まで、自由な雰囲気の中で美術への視点を上げられる機会を提案する。絵本の作者ディック・ブルーナのデザインワークも紹介するとともに、ワークショップコーナーも併設予定。《巡回展》
6月6日～ 7月17日 (37日)	富井大裕	新 潟 市	当市出身、現代彫刻の領域で活躍する富井大裕の美術館での初個展。当館で所蔵している作品に、新作を加えて作家自らがインスタレーションを行い、美術館の空間と対峙する。同時期に栃木県立美術館でも個展を開催し、協働して実施。《栃木県立美術館と協力開催》
7月29日～ 9月24日 (51日)	「前衛」写真の精神： なんでもないものの変容 瀧口修造・阿部展也・ 大辻清司・牛腸茂雄	新 潟 市	瀧口修造生誕120年、阿部展也生誕110年、大辻清司生誕100年、牛腸茂雄没後40年の節目にあたって、4人の交流と創作を辿りながら、1930年代の前衛写真から80年代のコンボラ写真へと連続と受け継がれている、瀧口が論じたストレート・フォトの流れに注目し、日本昭和写真史の一断片を紹介する。《巡回展(幹事館)》
11月18日～ 1月21日 (49日)	発掘された珠玉の名品 少女たち 一夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより	新 潟 市 (実行委員会を検討)	個性派画家たちの発掘をリードしてきた京都・星野画廊。そのカリスマ画商が売却し難く手元に残してきた華麗・濃密な優品120点を一挙公開。明治・大正・昭和の描かれた「少女たち」を通じ、美術史・ファッション史・世相史の変転を豊かにたどる。新潟会場独自の連動企画も検討中。《巡回展》

II 教育普及事業

1. コレクション展関連

展覧会	事業名	内容
コレクション展Ⅰ	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など 3回(4/22、5/20、6/17)
コレクション展Ⅱ		学芸員による展示作品の解説など 3回(7/15、8/19、9/16)
コレクション展Ⅲ		学芸員による展示作品の解説など 3回(11/11、12/16、1/13)

2. 企画展関連 (※現在開催が決定している事業分のみ)

企画展にあわせ、より理解を深めるための講演会などの関連事業を計画予定。

3. 学校向け教育普及事業

期間	事業名	内容
6月～1月	ARTTRIP (アートリップ)	美術館での鑑賞体験をさらに深めるために、学芸員による学校での出張授業(出前)と美術館での団体観覧(送迎バスを用意)をセットにしたプログラム。指導目標、授業のねらいに応じて学校と話し合いながらオーダーメイドの鑑賞授業を行う。令和2～4年度に準じたウィルス対策を取り5校程度実施。
各企画展開催 期間中の1週間	教職員視察 ウイーク	教職員に展覧会を視察してもらい、学校との連携事業についてのきっかけづくりを行う。鑑賞のガイドを発行するとともに、モニターアンケートを実施。

4. 各種講座

期間	事業名	内容
6月～3月	美術講座	館長及び学芸員が各回を担当する講座。開催中の展覧会に関連した内容または各自の研究に沿った内容で実施 [5回程度開催予定]
6月～3月	実技講座	実際の制作を中心に多様な表現・技法に親しむ講座。鑑賞につなげることに重点を置く。[2回程度開催予定]
夏・冬	子ども講座	小中学校の子どもを対象に、館内の探索や実制作によって美術に親しんでもらう講座 [2回程度開催予定]

5. 子育て世代への取り組み

期間	事業名	内容
試験的实施	ベビーカーディ	乳幼児同伴の家族が無料でコレクション展を観覧できる日を設定。カフェと協働し、子育て世代に身近に美術に親しんでもらう機会とする。[1回程度開催予定]

Ⅲ 調査研究事業

(1) 研究紀要の発行

・日頃の調査研究活動の成果や記録を今後の活動に活かすため、新潟市新津美術館と共同で研究紀要としてまとめる。

(2) 年報の発行

・美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに今後の活動に活かすため、新津美術館と共同で作成。

Ⅳ 収集保存事業

(1) 収蔵・展示環境保全

・収蔵庫、展示室の温湿度の管理、IPM(総合的有害生物管理:カビ・虫等の生物被害未然防止対策)を行う。

(2) 作品保存・修復

・R3年度調査を踏まえ作品の額装や修復を行い、作品の状態を良好に保つ。

(3) 作品管理

・作品リストのデジタル化を進めてカード(紙)とデータで2元管理を行い、事務の効率化を図る。

Ⅴ 施設普及事業ほか

・美術館ニュース「Wave」の発行、Lounge Nでの「きままプログラム」など施設普及イベントの実施等を予定

令和5年度 新潟市新津美術館 事業計画

I 展覧会事業

1. コレクション展

期 間	事 業 名	内 容
4月15日 ～ 6月18日	コレクション展Ⅰ	「平山郁夫が描く世界遺産展」に合わせて検討中。
7月1日 ～ 8月27日	コレクション展Ⅱ	「生誕140年 ユトリロ展」に合わせて検討中。
9月9日 ～ 11月5日	コレクション展Ⅲ	「ブラチスラバ世界絵本原画展」に合わせて検討中。
1月20日 ～ 3月10日	コレクション展Ⅳ	「笹岡了一と新潟光風会の作家たち」に合わせて検討中。

2. 企画展

期 間	事 業 名	主 催	内 容
4月15日～ 6月18日 (58日)	平山郁夫が描く 世界遺産展	新 潟 市 (実行委員会を組織)	日本画壇を代表する画家として活躍する傍ら、文化財保護に生涯心血を注いだ平山郁夫。アンコール遺跡、南京城壁、比叡山延暦寺等、各地の世界遺産を描いた作品群を佐川美術館(滋賀県)の所蔵品で構成。「佐渡島の金山」世界遺産登録推進に関する展示も併設。《巡回展》
7月1日～ 8月27日 (52日)	生誕140年 ユトリロ展	新 潟 市 (実行委員会を組織)	20世紀前半、哀愁漂うパリの街角の情景を描いて一世を風靡した画家モーリス・ユトリロ。初期から晩年までの作品を、日本国内のコレクションで構成。新津美が第一会場、横浜高島屋、京都伊勢丹へ巡回。《巡回展》
9月9日～ 11月5日 (52日)	ブラチスラバ世界絵 本原画展	新 潟 市 (実行委員会を組織)	スロバキアの首都ブラチスラバで2年ごとに開催される世界最大の絵本原画コンクール。2021年開催の第28回展に参加した日本の15名と、近年注目される韓国の14名の作家たちによる、日韓の絵本と原画を展示。千葉市美、東大阪市民美術センター、足利市美、うらわ美との共同企画。R4.11月より巡回、新津美は最終会場。《共同企画展》
1月20日 ～3月10日 (45日)	笹岡了一と新潟光風 会の作家たち	新 潟 市	地域の文化をテーマにした展覧会。新津美術館の設立基盤となった笹岡了一の作品を中心に、笹岡と所縁深い新潟光風会の作家たちの作品を、所蔵品を中心に展示。《自主企画展》

II 教育普及事業

1. 企画展関連 (※現在開催が決定している事業分のみ)

企画展にあわせ、より理解を深めるための講演会などの関連事業を計画予定。

2. 学校向け教育普及事業

期間	事業名	内容
6月～1月	出前美術館	申し込みのあった学校(小中学校・高校等)へ作家とともに出向き、作家の話を聞いたり、作品制作体験などのふれあいの中で美術の楽しさを伝える、作家と作品を出前する事業。アートカードを使った鑑賞教育事業も別プログラムとして実施。(7～8校程度実施予定)
各企画展の開催期間中	教職員視察研修観覧	教職員に展覧会を視察してもらい、学校との連携事業についてのきっかけづくりを行う。

3. 各種講座

期間	事業名	内容
6月～3月	美術講座	館長及び学芸員が各回を担当する講座。開催中の展覧会に関連した内容または各自の研究に沿った内容で実施〔7～8回程度開催予定〕

III 調査研究事業

(1) 研究紀要の発行

・日頃の調査研究活動の成果や記録を今後の活動に活かすため、新潟市美術館と共同で研究紀要としてまとめる。

(2) 年報の発行

・美術館の諸活動を他館や関係機関に報告するとともに今後の活動に活かすため、新潟市美術館と共同で作成。

IV 収集保存事業

(1) 収蔵・展示環境保全

・収蔵庫、展示室の温湿度の管理、IPM(総合的有害生物管理:カビ・虫等の生物被害未然防止対策)を行う。

(2) 作品保存・修復

・R4年度調査を踏まえ作品の額装や修復を行い、作品の状態を良好に保つ。

(3) 作品管理

・作品リストのデジタル化を進めてカード(紙)とデータで2元管理を行い、事務の効率化を図る。

V 施設普及事業ほか

(1) ミュージウムコンサート

・館の特徴であるアトリウム空間や展示室を活用して、コンサートを実施する。

(2) 利用者にはやさしいサービス

・各展会期中の第2・第4の木曜・土曜日に「託児サービス」を実施する。

・各展会期中の第1・第3の木曜・日曜日に、親子で語り合いながら鑑賞できる「こどもタイム」を実施する。

・各展会期中に1～2回は月曜日開館を実施する。